



王様クレイヨン

大正時代からおよそ70年間製造されていた王様クレイヨン。その始まりは大正10年創業の(株)サクラクレパス(大阪府)と同時期で、「西のサクラクレパス、東の王様クレイヨン」と、学童用画材のシェアを二分する存在であった。昭和初期からは製造工場が桐生に移り、平成の初め頃まで作り続けられたが、時代の移り変わりと共に静かにその姿を消していた。

王様クレイヨンを製造していたのは、現在、クレヨンと建築補修材のOEMを手掛ける(株)王様クレイヨン商会(荻野光一代表取締役社長)。全国から届く生産中止を惜しむ声や復活を望む便りに背中を押され、2020年にクラウドファンディングによる復刻に挑戦した。「往年のファンや絵を描くすべての子どもたちのために王様クレイヨンを届けたい」、荻野社長の想いに100万円以上が寄せられ、その年の8月に1,200セットを完成させた。

今回、復刻したのは王様クレイヨン20色セット。蓋を開けると当時の色を再現した鮮やかなクレヨンが並び、世代を問わず心を躍らせる。“シルキータッチ”と称される滑らかな描き心地も健在で、長くクレヨン製造に携わり日本品質に徹底的にこだわる同社の技術が光る。また、「王様」がデザインされたレトロで可愛いパッケージも忠実に復刻。パッケージやロゴのおしゃれなデザインを活かそうと、荻野社長はマグカップやバッグなどのオリジナルグッズも展開し、令和の時代に王様クレイヨンの再価値化を狙う。

現在は桐生市のふるさと納税の返礼品にも採用され、『桐生の』王様クレイヨンとして新しい土産になってほしい」と、荻野社長は期待する。今年3月には桐生市制施行100周年を記念し市に500セットを寄付、4月から来年3月までに生まれてくる子どもに贈られる予定だ。復刻された箱の裏側には「美しい世界を作ってください」と、次代を担う子どもたちに向けたメッセージも。製造当時から一貫する子どもの成長を願う想いと荻野代表の桐生への想いが練り合わさり、色鮮やかな名作文具が復活した。



子どもたちの成長を願う
文具の名作が復刻

【株王様クレイヨン商会】

●住所/桐生市広沢町4-2274

●電話/0277-54-9468

●HP/<https://king-crayon.com/>